

頑丈な車体がすぐコナコナ!



ここがシュレッダーの入り口!

▲大きな重機で次々と運搬

ステップ1 「どんどん細かく!」破砕

① 重機で運搬
第1回の「解体工場編」で見たとように、まだ使える部品を取り外した車は、重機でべししゃんこにされる。そのつぶされた車体が運ばれる先が破砕工場なんだ。この日も、たくさんの車体がトラックで工場の中に運び込まれていたよ。

② シュレッダーで細かく
とっても頑丈な車体を粉々にできるシュレッダー。いったいどんな仕組みで動いているんだろ? 案内してくれた金田さんに聞くと、「ここにあなたのハンマーが動いています。それで、入ってきたものを何回も叩き割って小さくしているんですよ」と教えてくれたよ。



ステップ1 「どんどん細かく!」破砕



シュレッダーダストも活用

車体から金属資源が回収されると、主にプラスチックやゴムなどが残る。これらは「シュレッダーダスト」と呼ばれ、さらに細かい金属資源を回収したり、熱源等として活用したりして、ゴミの削減に努めているんだよ。

このシュレッダーダストの処理には、車のユーザーが支払ったリサイクル料金が使われているんだ。みんなの協力のもと、処理によって出る資源をほとんど全て活用しているから、車のリサイクル率は99% (車両重量で見た場合) に達しているよ。



大切な資源として使い切るよ!

次回は自動車販売編!



今回のまとめ

まだ使える部品が取り外された後の車体は、シュレッダーで細かく砕かれていた。その後、鉄などの金属を回収して、資源として再生していくんだね。最後に残ったシュレッダーダストまでリサイクルしているのもスゴイ!

高品質な資源に生まれ変わる



▲砕かれた車体は工場の中へ

ステップ2 「機械と人の目で」分別

① 自動で資源を選別
バラバラになった車体は、資源を分別するための建物に入っていく。ここではまず磁石の力を使って、鉄とそれ以外の物質に分けるんだ。車は約7割が鉄で出来ているので、ここで半分以上の金属が回収できるよ。



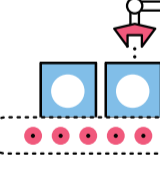
工場の外には、選別後の鉄が山のように積まれていたよ!



▲最後は人の目でチェック



ステップ2 「機械と人の目で」分別



資源を無駄なく回収!

クルマのリサイクルの流れ



こちらに伺いました!

お訪ねした会社

社名: 株式会社鈴木商会 石狩事業所
住所: 北海道石狩市
WEB: <https://www.suzuki-shokai.co.jp/>

さまざまな金属資源を無駄なく回収している企業だよ。これまで回収が難しいとされてきた資源を分別・回収する取り組みも行っているんだって!

見て・聞いて・学ぼう!

クルマのリサイクルフル

地球のために! 未来のために!

vol.2 破砕編

第6回 **クルマのリサイクル作品コンクール** 標語・ポスター大募集!!
応募締め切り 2023年2/28(火)必着

「クルマのリサイクル」について学んだことを標語・ポスターにして応募してみよう!!

JARC 公益財団法人自動車リサイクル促進センター Japan Automobile Recycling Promotion Center / JARC

詳しくはこちらから [クルマのリサイクル](#) 検索